

★バックナンバーの取り扱いについて

- ①2015年3月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL:03-3817-5666)にて承ります。
- ②それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11

TEL:03-5947-4781 FAX:03-3923-4539

2017年2月号

特集

院内助産の新しい形 クリニック・病院併設助産所の取り組み



現在、比較的大規模な病院での院内助産の開設は進み、助産師による実践が積み重ねられてきました。本特集では、クリニック内の院内助産と併設助産所にも注目し、助産師の業務内容を紹介いただき、やりがい、母子・助産師・施設のメリットについて考えてみました。

2017年1月号

特集

麻酔分娩に、 どう向き合うか



近年わが国では、麻酔分娩の実施件数が増加しています。抵抗を感じない助産師でも、避けては通れない話題です。麻酔分娩の場面における助産ケアの実際を学ぶとともに、助産師はどう向き合えばいいのか、体験を通して考えたことを中心にご紹介いただきます。

2016年12月号

特集

赤ちゃんのもつ力を 最大限に引き出す母乳育児支援



赤ちゃんはたくさんのパワーをもって生まれてきます。ポジショニングとラッチ・オンの主人公は赤ちゃんであり、母親はサポート役。授乳方法のこれまでの歴史を振り返るとともに、赤ちゃんが本来の力を発揮できる授乳方法と、退院後の支援について解説します。

2016年11月号

特集

開業助産師の実践する助産ケア 後輩に伝え、残しておきたいこと



開業助産所で実践しているケアを、妊娠時から産後まで、できるだけたくさんまとめました。大きな病院では同じように再現できなくても、その助産ケアの根底にある意図をくみ取ることが大切。地域や施設を超えた、先輩助産師から後輩助産師たちへのメッセージです。

2016年10月号

特集

周産期救急で 助産師ができること



正常な分娩経過をたどっていても、妊娠婦には常に急変の危険性が潜んでいます。その徴候を見逃さず、適切な初期対応、医師との連携ができるよう、必要な知識・技能の習得が助産師には望まれます。周産期救急において、助産師が果たせる役割について考えます。

2016年9月号

特集

オキシトシンと 妊娠・出産・育児の関係



オキシトシンは、子宮収縮、射乳のほかに、分娩時の助産ケアや育児にも影響すると言われています。助産師がオキシトシン分泌を意識して妊娠婦にアプローチすることはとても大切です。妊娠・分娩・育児期の、オキシトシンとの上手な付き合い方をまとめました。

2016年 特集

8月号 助産師が知っておきたい 妊娠期の「運動」

7月号 助産師教育で伝えたい、大切な助産ケア

6月号 次世代につなげる妊婦の栄養指導 厳しい体重増加制限のもたらす危険性

5月号 胎児心拍数モニタリングを極める 見逃してはいけないCTG波形

4月号 制度の根底にあるもの・期待されること アドバンス助産師の誕生

3月号 遺伝カウンセラーとは異なる 出生前検査における助産師の役割

2月号 新生児の疾患とその徴候 見逃してはいけない異常徴候